

【2017年3月期 第2四半期（中間）決算記者会見資料】

※実績値は単位未満切り捨て。前年比等の百分率は四捨五入。

①契約の状況等

		2016年9月期			16年3月期	15年9月期
		(末)	16/3期比	15/9期比	(末)	(末)
新契約年換算保険料	(百万円)	41,586	-	3.1% 増	78,479	40,347
うち第三分野	(百万円)	6,960	-	5.5% 増	13,044	6,597
保有契約年換算保険料	(百万円)	721,605	2.2% 増	4.2% 増	705,746	692,568
うち第三分野	(百万円)	80,234	5.4% 増	10.8% 増	76,132	72,384
保険料等収入	(百万円)	381,164	-	1.8% 増	748,914	374,358
うち個人保険分野	(百万円)	348,526	-	3.3% 増	675,827	337,361
うち団体保険分野	(百万円)	31,352	-	12.8% 減	70,916	35,961
保有契約高 ^(注)	(百万円)	37,090,211	0.8% 増	1.3% 増	36,790,070	36,602,757
解約・失効年換算保険料	(百万円)	20,357	-	0.7% 減	39,673	20,510
解約・失効率（年換算保険料建ベース）	(%)	2.88	-	0.14% 引低下	5.85	3.02

新契約高 ^(注)	(百万円)	1,889,837	-	4.0% 増	3,528,932	1,816,969
解約・失効高	(百万円)	1,191,841	-	2.2% 減	2,358,214	1,219,024
解約・失効率（契約高ベース）	(%)	3.24	-	0.11% 引低下	6.48	3.35

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険

※3月期比、9月期比は増減率（解約・失効率は増減ポイント）

※保険料等収入は損益計算書ベース

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の払込回数に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等（個人年金保険は年金開始時までの期間）で除した金額）

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出（9月期の解約・失効率は年換算前）

（注）定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額、「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ（無配当終身介護保障保険）」（平成27年10月発売）の介護保険金額を加算した金額でみた場合、次のとおりです。

（「Jタイプ」、「Tタイプ」および「介護リリーフ」は普通死亡の保障がないため、上記の新契約高・保有契約高には計上していません。）

		2016年9月期			16年3月期	15年9月期
		(末)	16/3期比	15/9期比	(末)	(末)
新契約高	(百万円)	2,314,513	-	4.0% 増	4,315,542	2,225,751
保有契約高	(百万円)	39,846,309	1.6% 増	2.9% 増	39,205,952	38,714,619

②資産の状況等

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
総資産	(百万円)	6,186,171	0.6% 増	2.6% 増	6,152,026	6,027,044
実質純資産額	(百万円)	1,412,906	1.6% 減	12.0% 増	1,436,157	1,261,607
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	22.9	0.5% 引低下	1.9% 引上昇	23.4	21.0
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,386.8	44.9% 引上昇	42.8% 引上昇	1,341.9	1,344.0

※3月末比、9月末比は増減率（実質純資産額／一般勘定資産、ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント）

③基礎利益・順ざや／逆ざや

		2016年9月期			16年3月期	15年9月期
			16/3期比	15/9期比		
基礎利益	(百万円)	49,304	-	14.5% 減	104,829	57,646

※9月期比は増減率

		2017年3月期の予想	2016年3月期の実額
順ざや額	(百万円)	23,000	30,604

④準備金

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
責任準備金（除く危険準備金）	(百万円)	5,235,278	100,719 増	187,980 増	5,134,559	5,047,298
うち一般勘定（除く危険準備金）	(百万円)	5,216,276	102,511 増	190,345 増	5,113,764	5,025,930
うち特別勘定（除く危険準備金）	(百万円)	19,002	1,792 減	2,365 減	20,795	21,367
価格変動準備金	(百万円)	84,958	5,302 増	6,627 増	79,655	78,330
危険準備金	(百万円)	66,833	1,023 増	2,326 増	65,809	64,506
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	39,445	287 増	383 増	39,157	39,062
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	21,765	523 増	1,530 増	21,242	20,234
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	922	1 増	28 増	920	894
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	4,698	210 増	383 増	4,488	4,314
危険準備積立金	(百万円)	-	-	-	-	-
価格変動積立金	(百万円)	-	-	-	-	-
別途積立金	(百万円)	150,000	-	-	150,000	150,000

※3月末比、9月末比は増減実額

※16年3月末の別途積立金は、剰余金の処分後の残高を記載

⑤含み損益

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
有価証券	(百万円)	605,825	13,440 減	143,436 増	619,266	462,389
うち国内株式	(百万円)	132,557	12,209 減	20,532 減	144,767	153,089
うち国内債券	(百万円)	405,082	4,652 増	171,433 増	400,430	233,648
うち外国証券	(百万円)	54,506	2,460 減	1,253 減	56,967	55,760
うちその他の証券	(百万円)	5,960	2,231 減	6,104 減	8,191	12,064
不動産	(百万円)	29,273	425 増	10,192 増	28,848	19,080

※3月末比、9月末比は増減実額

※有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものについて、責任準備金対応債券および満期保有目的の債券の差損益、その他有価証券評価差額の合計値を記載。

※不動産の含み損益は、国内の土地および借地権を対象としています。なお、再評価は実施していません。

また、時価は原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格を基準として評価しています。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式 (国内株式投信等を含む)	(百万円)	1,171 増 (1,534 減)	- 国内株式、外国株式は市場見通しに応じて機動的に残高を調整。 - 国内債券は、中長期的にデュレーションを長期化する方針であるが、金利水準を踏まえ購入額を調整。 - 外国債券は積み増す方針。為替は市場見通しに応じてヘッジを増減。
国内債券	(百万円)	83,678 増	
外国株式等	(百万円)	79,357 増	
外国債券	(百万円)	121,665 増	
不動産	(百万円)	1,414 増	

※上記実績は、約定金額の増減合計により算出しています。

※国内株式のうち「(国内株式投信等を含む)」は、主たる投資対象を国内株式とする投資信託および株式先物を含めて記載しています。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2016年9月末時点
国内株式 (日経平均)	(円)	8,000 程度
国内株式 (TOPIX)	(ポイント)	650 程度
国内債券	(%)	1.1 程度
外国証券	(円)	111 程度

※上記数値は、当社のポートフォリオが日経平均株価やTOPIX、新発10年国債利回り、ドル円レートに連動すると仮定し、2016年9月末時点の保有状況により試算した結果です。ただし、当社のポートフォリオはこれらの指標に連動するとは限りませんので、試算時点によりこれらの数値は異なります。

※国内債券は新発10年国債利回り(9月末▲0.09%)換算し、小数点第一位まで算出しています。なお、9月末のイールドカーブが平行移動した場合の含み損益がゼロとなる新発10年国債利回りの試算値を記載しています。

※外国証券はドル(9月末101.12円)換算にて算出した為替要因のみの含み損益がゼロになる水準です。なお、為替にかかるヘッジ会計適用分を除いて算出しています。

⑧2017年3月期の業績見通し

		2017年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	750,000
基礎利益	(百万円)	105,000
保有契約高 ^(注)	(百万円)	37,110,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	720,000

(注)「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した保有契約高の見通しは、次のとおりです。

		2017年3月期の予想
保有契約高	(百万円)	40,200,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2016年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

※銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

※銀行からの拠出の株式は9月末の時価

ii 銀行への拠出(総額)

		2016年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	63,392
劣後ローン等	(百万円)	320,620

※銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

⑩職員数

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
営業職員	(人)	3,881	0.4%増	0.5%増	3,867	3,863
代理店	(店)	13,659	1.0%減	1.1%増	13,793	13,514
内勤職員	(人)	3,147	1.8%増	0.3%増	3,092	3,137

※3月末比、9月末比は増減率

⑪銀行窓販の状況

当社は銀行窓販を行っておりませんので、該当事項はありません。

その他質問項目（2016年9月）

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2016年9月期	16年3月期	15年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 0	1	0

※戻入額については△で表示